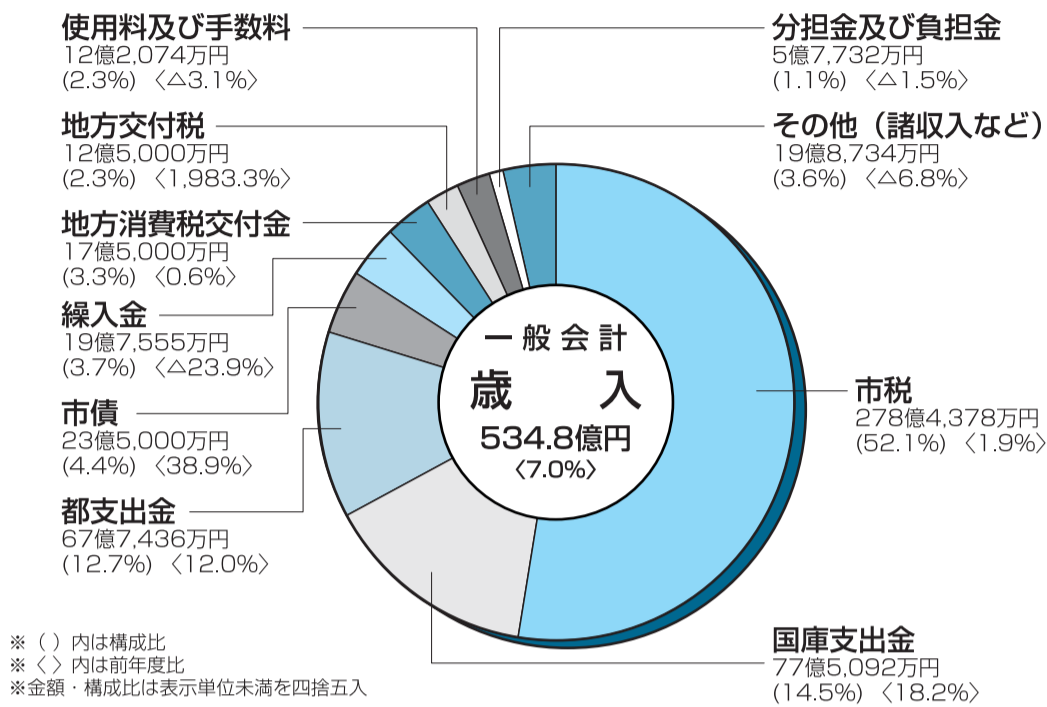
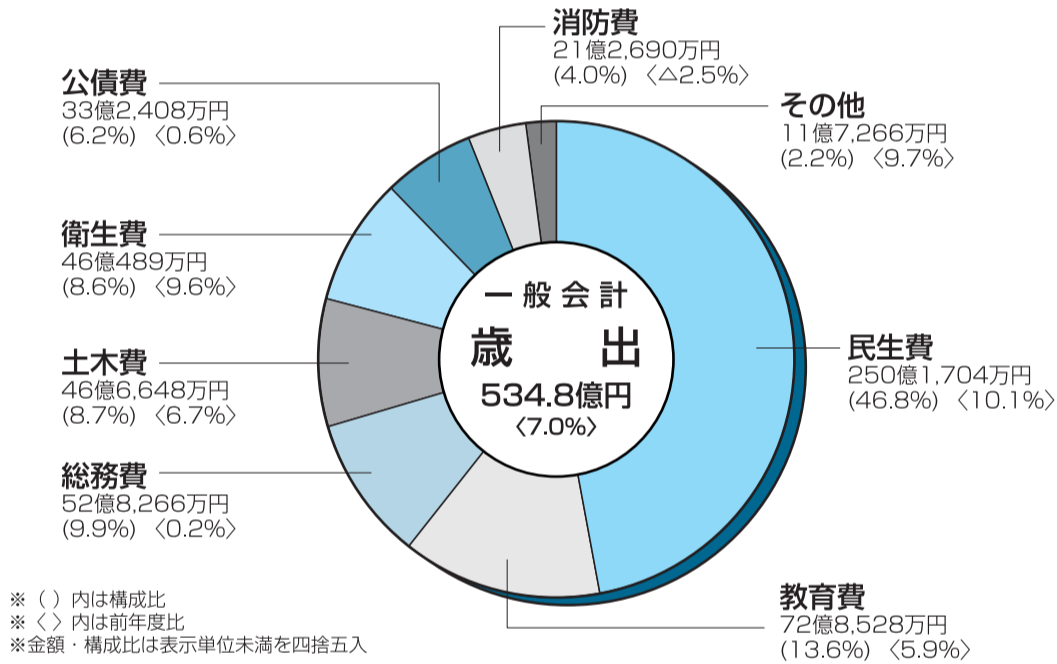


### 平成23年度一般会計予算構成図

一般会計予算総額 534億8,000万円 (前年度比7.0%増)



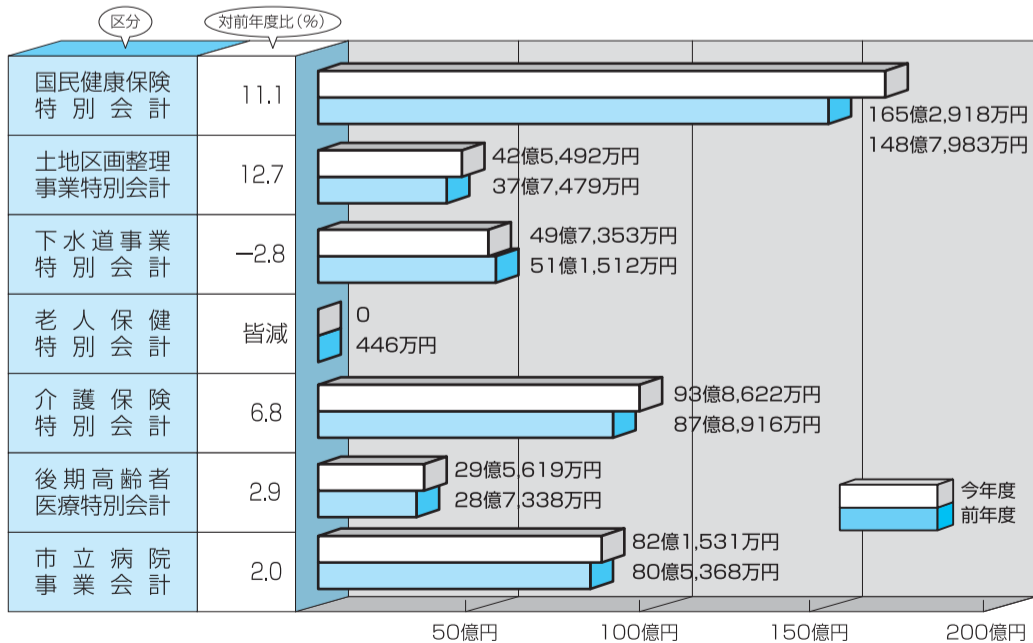
※ ( ) 内は構成比  
※ < > 内は前年度比  
※ 金額・構成比は表示単位未満を四捨五入



※ ( ) 内は構成比  
※ < > 内は前年度比  
※ 金額・構成比は表示単位未満を四捨五入

### 平成23年度特別会計予算前年度比較図

特別会計予算総額 463億1,536万円 (前年度比6.5%増)



★国民健康保険特別会計  
予算総額 165億2,918万円  
ジェネリック医薬品の切り替えの見直しを問う、一般会計からの繰り入れ等について問う、医療給付費について分析したのか、低所得者に対する軽減策を問う、市の国保税値上げは過去どのように行われて来たのか、不明な収支予測に基づいた国保税の値上げを撤回すべきである、値上げは行財政改革等を行った結果であり賛成する、などの質疑や意見がありました。採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決まりました。

★土地区画整理事業特別会計  
予算総額 42億5,492万円  
西平山地区、公共施設管理者負担金の平成23年度見込み額について問う、保留地処分について初年度と2年目の手法が変わったところはあるのか、出来ないか、地域支援事業費の予算を減らしている理由等を問う、などの質疑がありました。採決の結果、全会一致で可決すべきものと決まりました。

★後期高齢者医療特別会計  
予算総額 29億5,619万円  
特段の質疑・意見はなく、採決の結果、全会一致で可決すべきものと決まりました。

★市立病院事業会計  
予算総額 82億1,531万円  
改革プランのこれまでの取り組みと課題について問う、計画停電時における市立病院の自家発電で賄える電力需要について問う、努力している病院職員を全面的にバックアップしたい、などの質疑や意見がありました。採決の結果、全会一致で可決すべきものと決まりました。

# 平成23年度予算の審議から

## 一般会計予算 原案可決

平成23年度一般会計予算特別委員会は、3月16日、17日、18日の3日間、にわたり開催され、窪田知子委員長、奥住匡人副委員長のもと、慎重な審査が行われました。

委員会では、延べ34人の委員から質疑や行政への提言、指摘が活発に行われました。なお、平成23年度日野市一般会計予算の原案は、歳入歳出のおの53億8千万円であり、前年度に比較して34億9千万円、7.0%の増となっております。

主な質疑としては、まず、歳入全般では、ホームページバナー広告の効果を検証しているのか、平成23年度法人市民税の見込みについて問う、個人市税滞納者が多重債務に陥った場合に支援を行っているのか、などがありました。

次に、歳出全般について、総務費では、中学生自転車安全運転教室の今後の取り組み予定を問う、

選挙における若者の投票率向上策について問う、自主防犯組織の活動状況と地域における組織割合について問う、全公共施設の女子トイレにDVカードを設置できないか、国体のホッケー競技が終了した後の活用は何か、行政事務経費の業務効率化支援事業の結果をどのように把握しているのか、民生費では、若年性認知症に対する取り組みは何か、セーフティネットコールセンターの職員体制等について問う、平山台健康・市民支援センターはどのような拠点として位置付けられているのか、生活保護費の上げ幅と生活保護にならないように支える施策について問う、地域生活支援事業の移動支援事業単価が他市より低い理由は何か、衛生費・労働費では、猫避妊去勢手術業務委託の内容は何か、ごみの指定収集袋の品質について問う、さわやか健康体操が有料化される理由は何か、太陽光発電システム及び高効率給湯設備設置補助金を減額補正した理由について問う、農業費・商工費・土木費・消防費では、今回の大震災後の市の対応について問う、商工金融対策の緊急保証制度が終了することによる影響等について問う、

木造住宅耐震改修補助金の利用状況を問う、教育費等では、市民プール指定管理者選定のスケジュールを問う、日野一中・二中・三中プロジェクトを教育指導費とした理由は何か、就学援助の額及び対象について問う、小・中学校の冷暖房機設置の進捗状況について問う、などの質疑がありました。

採決に入る前に、3名の委員から、国民健康保険税の値上げの中止、国体・ホッケー競技の日野市開催の返上及び陸上競技場のフィールド改修にかかる費用の削減を求める等を主な内容とする予算の編成替えを求める動議が提出されました。動議に対する質疑・意見の後に、採決を行い、賛成少数で可決すべきものと決まりました。

3月28日の本会議において、委員長報告、質疑が行われました。各会派の代表による予算案に対する意見表明の後、採決が行われ、平成23年度一般会計予算は、賛成多数で原案のとおり可決されました。

★国民健康保険特別会計  
予算総額 165億2,918万円  
ジェネリック医薬品の切り替えの見直しを問う、一般会計からの繰り入れ等について問う、医療給付費について分析したのか、低所得者に対する軽減策を問う、市の国保税値上げは過去どのように行われて来たのか、不明な収支予測に基づいた国保税の値上げを撤回すべきである、値上げは行財政改革等を行った結果であり賛成する、などの質疑や意見がありました。採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決まりました。

★土地区画整理事業特別会計  
予算総額 42億5,492万円  
西平山地区、公共施設管理者負担金の平成23年度見込み額について問う、保留地処分について初年度と2年目の手法が変わったところはあるのか、出来ないか、地域支援事業費の予算を減らしている理由等を問う、などの質疑がありました。採決の結果、全会一致で可決すべきものと決まりました。

★後期高齢者医療特別会計  
予算総額 29億5,619万円  
特段の質疑・意見はなく、採決の結果、全会一致で可決すべきものと決まりました。

★市立病院事業会計  
予算総額 82億1,531万円  
改革プランのこれまでの取り組みと課題について問う、計画停電時における市立病院の自家発電で賄える電力需要について問う、努力している病院職員を全面的にバックアップしたい、などの質疑や意見がありました。採決の結果、全会一致で可決すべきものと決まりました。

平成23年度一般会計予算特別委員会は、3月16日、17日、18日の3日間、にわたり開催され、窪田知子委員長、奥住匡人副委員長のもと、慎重な審査が行われました。

委員会では、延べ34人の委員から質疑や行政への提言、指摘が活発に行われました。なお、平成23年度日野市一般会計予算の原案は、歳入歳出のおの53億8千万円であり、前年度に比較して34億9千万円、7.0%の増となっております。

主な質疑としては、まず、歳入全般では、ホームページバナー広告の効果を検証しているのか、平成23年度法人市民税の見込みについて問う、個人市税滞納者が多重債務に陥った場合に支援を行っているのか、などがありました。

次に、歳出全般について、総務費では、中学生自転車安全運転教室の今後の取り組み予定を問う、

選挙における若者の投票率向上策について問う、自主防犯組織の活動状況と地域における組織割合について問う、全公共施設の女子トイレにDVカードを設置できないか、国体のホッケー競技が終了した後の活用は何か、行政事務経費の業務効率化支援事業の結果をどのように把握しているのか、民生費では、若年性認知症に対する取り組みは何か、セーフティネットコールセンターの職員体制等について問う、平山台健康・市民支援センターはどのような拠点として位置付けられているのか、生活保護費の上げ幅と生活保護にならないように支える施策について問う、地域生活支援事業の移動支援事業単価が他市より低い理由は何か、衛生費・労働費では、猫避妊去勢手術業務委託の内容は何か、ごみの指定収集袋の品質について問う、さわやか健康体操が有料化される理由は何か、太陽光発電システム及び高効率給湯設備設置補助金を減額補正した理由について問う、農業費・商工費・土木費・消防費では、今回の大震災後の市の対応について問う、商工金融対策の緊急保証制度が終了することによる影響等について問う、

木造住宅耐震改修補助金の利用状況を問う、教育費等では、市民プール指定管理者選定のスケジュールを問う、日野一中・二中・三中プロジェクトを教育指導費とした理由は何か、就学援助の額及び対象について問う、小・中学校の冷暖房機設置の進捗状況について問う、などの質疑がありました。

採決に入る前に、3名の委員から、国民健康保険税の値上げの中止、国体・ホッケー競技の日野市開催の返上及び陸上競技場のフィールド改修にかかる費用の削減を求める等を主な内容とする予算の編成替えを求める動議が提出されました。動議に対する質疑・意見の後に、採決を行い、賛成少数で可決すべきものと決まりました。

3月28日の本会議において、委員長報告、質疑が行われました。各会派の代表による予算案に対する意見表明の後、採決が行われ、平成23年度一般会計予算は、賛成多数で原案のとおり可決されました。

★国民健康保険特別会計  
予算総額 165億2,918万円  
ジェネリック医薬品の切り替えの見直しを問う、一般会計からの繰り入れ等について問う、医療給付費について分析したのか、低所得者に対する軽減策を問う、市の国保税値上げは過去どのように行われて来たのか、不明な収支予測に基づいた国保税の値上げを撤回すべきである、値上げは行財政改革等を行った結果であり賛成する、などの質疑や意見がありました。採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決まりました。

★土地区画整理事業特別会計  
予算総額 42億5,492万円  
西平山地区、公共施設管理者負担金の平成23年度見込み額について問う、保留地処分について初年度と2年目の手法が変わったところはあるのか、出来ないか、地域支援事業費の予算を減らしている理由等を問う、などの質疑がありました。採決の結果、全会一致で可決すべきものと決まりました。

★後期高齢者医療特別会計  
予算総額 29億5,619万円  
特段の質疑・意見はなく、採決の結果、全会一致で可決すべきものと決まりました。

★市立病院事業会計  
予算総額 82億1,531万円  
改革プランのこれまでの取り組みと課題について問う、計画停電時における市立病院の自家発電で賄える電力需要について問う、努力している病院職員を全面的にバックアップしたい、などの質疑や意見がありました。採決の結果、全会一致で可決すべきものと決まりました。